

梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意が必要です。体が暑さに慣れていないため、普段からの外遊びで体を鍛え、喉が渇いていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。プール遊びも始まるので、たくさん遊んだ後は、ゆっくり休ませ、体調管理に十分気をつけていきたいと思います。



プールの事前準備



- * 水着、タオル、下着に名前を書いてください。
- * 耳、鼻、喉、目、皮膚の病気は治療を済ませておきましょう。
また、治療中の病気などがあれば、事前にお知らせください。
- * 爪を切りましょう。長いと、けがの原因となります。

こんな時はプールに入れません。

- ・熱がある。または、前日に熱があった。
- ・鼻水が出ている。
- ・喉やその周りが赤い、喉に痛みがある。
- ・目が赤く充血している。
- ・普段より多く目やにが出ている。
- ・普段より多く耳だれが出ている、耳の痛みを訴える。

6月の感染症情報

手足口病	22名
溶連菌感染症	3名
ウイルス性胃腸炎	2名
ヘルパンギーナ	1名
プール熱（咽頭結膜熱）	1名

今年は、乳児部で手足口病の発症が目立っています。手足口病は、発疹の出現前後を通じて長期間に渡りウイルスを排泄し他人にうつすことから保育園を休む基準が決められません。一般的には、元気で通常の生活ができる状況であれば登園可能と判断されます。罹患していない園児は、微熱や下痢気味、食欲や活気が無いときは、感染を受けやすいので、可能であれば自宅でゆっくり休ませることをお勧めします。

上記の疾患は、保護者記入の登園許可証が必要です。許可証は、事務所玄関前と乳児部玄関前においてあります。

「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



1 涼しい場所へ移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



2 体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



3 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- 冷やしたタオル
- タオルに包んだ保冷剤
- 冷えた缶ジュース

などを挟んで冷やすと効果的



39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます